

国立情報学研究所主催、『文部科学省委託事業 NetCommons ユーザカンファレンス 2007』が東京・一橋記念堂にて開催され、参加をしてきたのでここに報告する。

i.概要

- + 開催日時：平成 19 年 8 月 8 日（水）10:00-17:00
- + 開催場所：一橋記念堂（学術総合センタービル）
- + プログラム
 - 主催者挨拶 国立情報学研究所所長 坂内正夫氏
 - 挨拶「先導的教育情報化推進プログラムが目指すもの」
文部科学省 初等中等教育局参事官付 情報教育調整官 中沢淳一氏
「NetCommons が開く新たな『学びの場』によろこそ」
国立情報学研究所 情報社会相関研究系 教授 新井紀子氏
 - パネルディスカッション
「教育の情報化・校務の情報化・情報提供の電子化を実現するワンストップサービスシステムとは」
コーディネータ 千葉県教育庁 教育振興部教職員課管理室 主管 渡邊茂通氏
パネラー 新井紀子氏 他 4 名
 - 分科会
 - 第一分科会 「総合的な広報・教育・校務の情報化へ」
 - 第二分科会 「e-ラーニングへの活用」
 - 第三分科会 「社会での利活用」
 - 第四分科会 「NetCommons をビジネスチャンスに」
 - 第五分科会 「ソースコード解析講座」

なお、分科会において筆者は以下の発表を聴講した。

- 「伊勢原市教育センターWeb サイトを再構築」 伊勢原市教育センター 桑原昌之氏
- 「グループ課題探求型学習での NetCommons の活用」 高知高専 教授 今井一雅氏
- 「はじめての NetCommons。学校公式 Web ページとしての利用」 千葉県立茂原高校 永野直氏

ii.所感

NetCommons は、CMS、LMS、グループウェアの機能を有し、教育及び校務の情報化を実現するシステムとして、教育機関を中心に注目されているシステムである。

現在、高専情報処理教育研究委員会（以下、専情委）の Web サイトを NetCommons を利用して運用しているが、そのより有効的な活用方法、また専情委活動がよりアクティブになるための NetCommons 利用方法を模索するために、今回のカンファレンスに参加した。

今回のカンファレンスにおいて、小学校から大学まで、また教育委員会等の組織における NetCommons の活用事例を聞くことができたが、残念ながら専情委に生かせるような報告を聞くことはできなかった。しかし、ITWG、事務部学内専用ページ、WeblyGo といった現在学内で個々に運用されている情報化サービスを NetCommons によって統合化できる可能性を見いだすことができたため、今後、関係部署に情報提供をし、実現化に向けて働きかけていきたい。